

「障がいのある子どもの力を高めるための災害教育」研修会のご案内

拝啓 盛夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

自然災害は障がいのある子どもにとって脅威であり、子どものもっている力に応じて、日頃から災害に備える力を高めていくことが大切です。私たちは、障がいのある子ども達が自然災害に備えることを目的としたツール開発に東日本大震災前より取り組んでまいりました。

この度、災害に備えるツールを各校の状況に応じて活用いただくための研修会を開催することと致しました。詳細につきましては、同封のポスターをご参照ください。自然災害の多い日本において、教育委員会および各特別支援学校の皆様による災害への備えの一助となりましたら幸いに存じます。

何かとご多忙のことと存じますが、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

開発したツールの概要

- ① **特別支援学校用災害シミュレーションパッケージ**：大人が子どもを守るためのツール。
「シミュレーション編」「備蓄編」「設備編」から構成される。
- ② **災害セルフケアパッケージ**：子ども自身の災害に備える力を高めるためのツール。
災害の種類は地震を主とする。対象は肢体不自由と知的障がいのある子ども。
子どもの身体・認知レベルに応じた4段階のツールから構成される。
子どものセルフケア能力を評価する評価表を含む。
- ③ **障がいのある子どもの災害備えパッケージ**：子ども自身の災害に備える力を高めるためのツール。
多様な自然災害を対象とする。対象は、知的障がい、肢体不自由、聴覚障がい、視覚障がい、医療的ケア（慢性疾患含む）の子ども。
子どものセルフケア能力を評価する評価表を含む。

追記：当日、資料の配布があります。事前申し込みにご理解・ご協力をお願いいたします。

関西医科大学 看護学部・看護学研究所
こども看護学領域 教授 加藤令子